

がんの治療を受けられる患者さんへ
是非手に取ってお読みください。

口は「生きる」ための入り口

～美味しく食べて、元気をとりもどす～

がん治療と口腔ケア

～がんを克服するためにできること～

お問い合わせ先

一般社団法人 熊本県歯科医師会

TEL 096-343-8020 FAX 096-343-0623

E-mail jimu@kuma8020.com.

ホームページ

<http://www.kuma8020.com>

がん診療医科歯科連携事業

熊本県歯科医師会・熊本県

がん治療中のお口のトラブル

がんの治療では、お口の中にさまざまなトラブルが高い頻度であらわれます。痛みだけではなく、食事や会話をさまたげ、時にこのトラブルが原因で入院が長引いたり、がんの治療自体に影響がでることもあります。

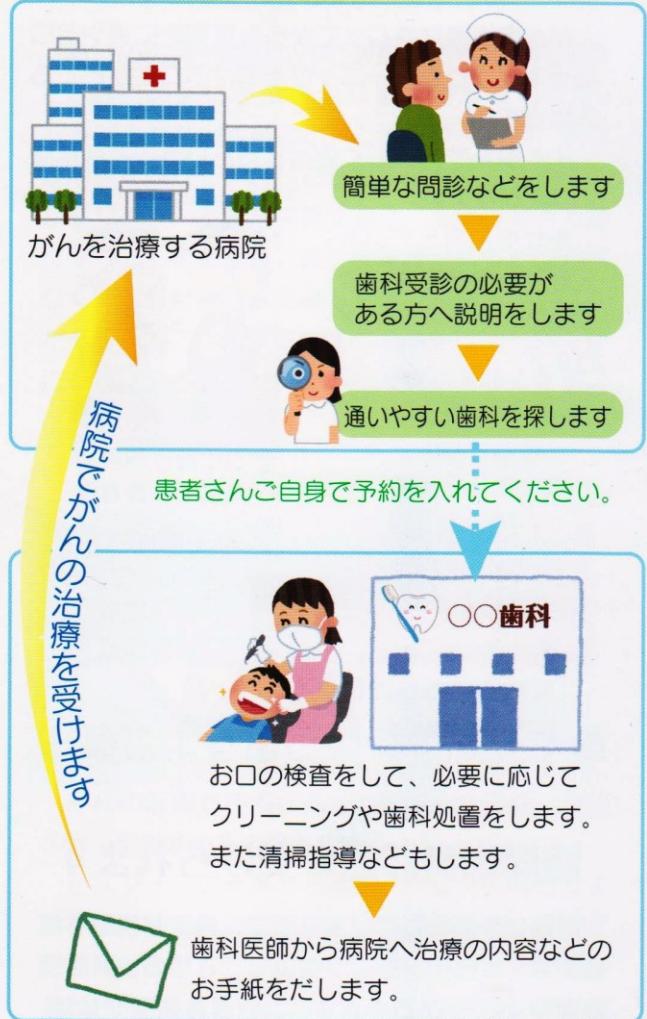
がんの治療によって、さまざまながらだの変化が起き、抵抗力が落ちた状態でさらに食事がきちんと取れないと、体力も落ちてがんと闘う力が失われてしまいます。



特にむし歯や歯周病が治療されてない状態で、がん治療が始まってしまうと、感染などのトラブルが起きやすくなります。

※がん治療が影響して起きる口内炎を特に口腔粘膜炎といいます。

がん診療医科歯科連携とは



医科と歯科の連携で健康を取り戻しましょう



手術にともなうトラブルと口腔ケア

お口の中はとても細菌が多い場所です。そのため全身麻酔をして手術を受けるときなど、人工呼吸のためのチューブを通して、口の中の細菌が肺に入り、術後肺炎を起こすことがあります。特にがんの手術で抵抗力が落ちている状態では、肺炎になりやすいと言われています。

がんの手術がうまく行つても、肺炎で入院が長引いたり、亡くなる場合もあります。



手術の前に歯科で口腔ケア（お口のクリーニング）を受けることで、お口の中の細菌を減らすことができ、肺炎を予防する効果が認められています。

きちんと歯科の専門的口腔ケア（お口のクリーニング）をうけることが重要です。



特に口や喉、食道の手術では傷口の感染などの予防効果もあります。

その他のがんの手術でも、さまざまな理由から、肺炎の危険性が高くなるため、口腔ケアは非常に大切になります。

誤嚥性肺炎（ごえんせいはいえん）

口の中の細菌が唾液などに混じり、気がつかないうちに肺に入って起きる肺炎。特に飲み込む機能が低下した高齢者に多い。

抗がん剤治療にともなうトラブル

抗がん剤が口の粘膜の細胞に影響して、さまざまなトラブルがおこります。

口腔粘膜炎とは…

抗がん剤が、口の粘膜の細胞に影響しておきる炎症。口内炎のように痛みをともなう炎症が、舌や唇、頬の内側にたくさんてきて、食事をとったり、飲み込んだりしにくくなります。



口腔乾燥とは…

抗がん剤の治療後に唾液の量が減って、口の中が乾燥し、ヒリヒリしたような感じや、しゃべりづらい、飲み込みにくい、入れ歯が痛い、むし歯ができやすい。といった症状が現れます。

味覚障害とは…

味をつかさどる組織が影響をうけ、食べ物や飲みものの味がわかりづらくなり、食事がおいしく感じられなくなることがあります。



これらの諸症状は抗がん剤の種類などによっても頻度や重症度はことなりますが、口腔ケアを行うことで、予防や症状を軽くする効果があると言われています。



大切なことは、お口の中を清潔にして保湿をすることです。

アルコールを含んだうがい薬は、しみたり、余計に乾燥したりするので注意が必要です。

お口の周囲に放射線治療を行うときのトラブル

お口の周囲や喉のがんで放射線治療をおこなうと、お口の中にさまざまな副作用が現れます。トラブルがひどくなると、とても辛くなり、放射線治療を続けることができなくなってしまうことがあります。治療を中断すると、治療の効果も弱くなってしまいます。また放射線治療中だけではなく、治療が終わった後もトラブルがおきことがあります。口腔ケアはすべての副作用を抑えることは困難ですが、いくぶんか症状を軽くすることもできます。

放射線治療中に起きるトラブル

口腔粘膜炎
歯や歯肉の感染
味覚障害
口腔乾燥

放射線治療後に起きるトラブル

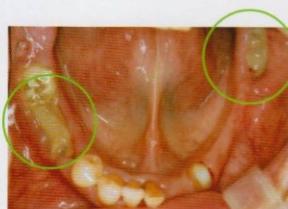
骨や粘膜の壊死
むし歯の多発
口腔乾燥

お薬によるあごの骨の壊死予防

がんの治療で使用されるお薬の中には、あごの骨に影響するものがあります。

ビスフォスフォネート製剤と呼ばれる骨粗しそう症にも使われるお薬や、分子標的薬の一部などを服用・注射している方が、口の中の衛生状態が悪かったり、抜歯などの手術をおこなうと、あごの骨が感染し、壊死を起こすことがあります。

お口の中を清潔にしておくことや、がんの治療



抜歯後にあごの骨の壊死を起こした例

でそのような副作用があるお薬を使うときには、事前に歯科医院で治療を済ませてしまうと良いと言われています。

歯やお口のメンテナンス

がんの治療が終わってからも定期的に歯やお口のチェックとクリーニングを受けることがとても大切です。

よく噛んでおいしく食べれるということは健康につながります。

歯が多く残っている人ほど、健康で長生きするというデータもあります。



がん治療後もかかりつけ歯科医院で継続治療をしましょう。
継続的なお口の健康管理が重要です。



訪問歯科診療が受けられます

高齢者やからだの状態などで、通院が困難な場合には、ご自宅、病院や施設などで訪問歯科診療を受けることができます。入れ歯の調整や修理、作製のほか一般的な歯科治療や口腔ケアなどが受けられます。

お気軽に熊本県歯科医師会にご相談ください。

